

乳幼児被服の適正条件に関する総合的研究

研究分担者（五十音順）

ト部 澄子 宇留野勝正 片山 倫子 木曾山かね
清水 義雄 仲 三郎 宮崎 照子 山本 良子

Studies on the Adequacy of Clothing in Infants and Children

Sumiko URABE Katsumasa URUNO Michiko KATAYAMA

Kane KISOYAMA Yoshio SHIMIZU Saburo NAKA

Teruko MIYAZAKI Ryoko YAMAMOTO

乳幼児用の被服は非常に多種多様に作られて市販されているが、それらの素材、形態などの適正、すなわち乳幼児の身体ならびに心理的な発育発達度によく適合しているか、医学的、衛生学的に、また機能性を考慮されているかなどについて、総合的に研究された報告はほとんどみられない。

そこで本研究では乳幼児の被服の現状を調査し、それに基づいて乳幼児の健康に及ぼす影響を中心に、それらの素材、形態、機能などについて総合的な試験研究を行ない、その結果から乳幼児被服の適正条件を探りたいと考える。

第1報 乳幼児被服の現状調査

主たる研究分担者（五十音順）

ト部澄子* 宇留野勝正** 木曾山かね***
宮崎照子**** 柳沢美文*

1. 緒 言

乳幼児被服の適正条件に関する総合的研究を行うにあたり、まず乳幼児服の使用実態を把握するためにアンケートを作成し、母親に面接して聞きとり方式調査を行ったので、まとめられた結果の概要を報告したい。

2. 調査方法

2—1 調査対象；東京都豊島区池袋保健所に健康診断に来所した乳幼児で、乳児は生後4か月、幼児は満3歳である。

2—2 調査人数：乳児168名、幼児196名

2—3 調査時期：昭和58年3～7月

2—4 調査内容

a 乳児の場合 ① 調査衣類の種類と設問項目：肌着、ラッパ―またはきもの、ナイトドレス、ロンパース、サック、袖なしハーフ、おくるみ、ボンネットの8種類の所持数、使用年数、生地、織り方、生地名、色の濃淡、色、柄、価格 ② 衣類新調の際の入手方法とその動機 ③ 何を優先に考えて購入するか、購入場所、購入時選択する人 ④ 衣料品の安全性についての意識 ⑤ 衣類への苦情と事故のあった衣類

b 幼児の場合 ① 調査衣類の種類と設問項目：シャツ、パンティ、スリッパ（以上は肌着）、Tシャツ、ブラウス、セーター、カーディガン、ベスト、ワンピース、スモック、オーバーオールズボン、半ズボン、長ズボン、スカート、の14種の衣類で、設問項目は乳児に同じ ②～⑤ 乳児に同じ

*繊維化学研究室 **公衆衛生研究室

第2被服構成研究室 *保育学第2研究室

3. 結果と考察

図1は調査対象乳幼児の性別割合で、乳児幼児とも男女ほぼ同数である。図2は、母親の年齢であるが、乳児では20歳台、幼児では30歳台が多かった。

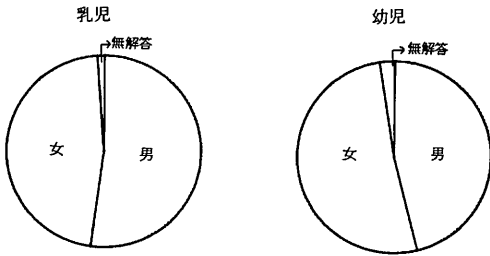


図1 調査乳幼児の性別

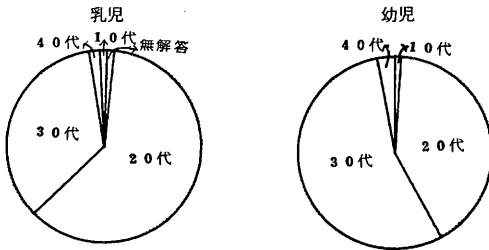


図2 母親の年齢

次に衣類に関する調査結果であるが、図3～36に示した。

設問の解答は数を制限せずに記入(○印)してもらい、次のような要領で図示した。すなわち図3～36の解答結果は、1つの衣類(例えばシャツ)の中での設問項目を2項目組合せて棒グラフ、円グラフで示した。棒グラフの経軸所有度(%)は組合せ2項目中の解答○印の総数に対する各設問項目(例えば所持数など)内の○印の割合で、最多解答割合を上位から3～4位までを図示した。円グラフは割合を分割して示したが、円中の数字は○印をつけて解答された、内容表示の言葉の番号である。

3-1 乳児の場合

(1) 図3は最多所有数と生地名で、肌着、ラッパ、ロンパースなどは6枚以上、サック、ハーフ、ボンネットなどは2枚持っているのが最も多かった。生地はすべて木綿が多かった。

(2) 図4は織り方であるが、肌着、ラッパ、ナイトドレス、ロンパース、おくるみ、ボンネットなどでは織物が用いられ、サック、ハーフはニットが多かった。所有数は(1)に準じている。

(3) 図5は柄で、無地が最も多いが、次はすべての衣類に花柄が見られ、動物柄も多かった。所有数は(1)に準じている。

(4) 図6は価格で、衣類の種類によって巾があり、肌着は500～1,000円、ラッパ、ナイトドレス、ロンパース、サック、ハーフなどは2,000～3,000円、おくるみは5,000円以上のものを持っていることが判った。所持数は(1)に準ずるが、ナイトドレスに無解答と0枚が多かったのは所有していない人が多いものと思われた。

(5) 図7は最も多く使われている生地と使用年数で、生地は前記同様木綿が最も多く、使用年数は肌着、ナイトドレス、ロンパース、ハーフ、ボンネット、ラッパなどは2～3か月で、衣類の多くは4か月～1年であった。

(6) 図8は使用年数と価格を比較したが、価格のうち「その他」の解答で、もらい物、おさがりが多く90件の回答数がみられた。

(7) 図9は生地と織り方を示したもので、生地は綿、織り方は前記の通りサック、ハーフはニット所持者が多く、他の衣類は50%以上は織物が使用されていた。

(8) 図10は生地と価格を示したもので、最も多い綿製品も1,000～5,000円のものを使用していることが判った。

(9) 図11は柄と価格を示したもので、柄物と無地物の価格の差を推定すると、無地物の多い肌着は価格は安い、無地物であってもサック、ハーフ、おくるみ、ボンネットなどは高価であり、柄物が高価とはいえないようである。

(10) 図3～11に対する追加事項 各衣類はすべて貰い物が多く、肌着、きものはおさがり、サック、ハーフ、おくるみ、ボンネットは手作りも見られ、柄はチェック、風景、縞、刺繍などが見られ、生地は、ロンパース、サック、ハーフ、おくるみ、ボンネットなどは毛、毛とア

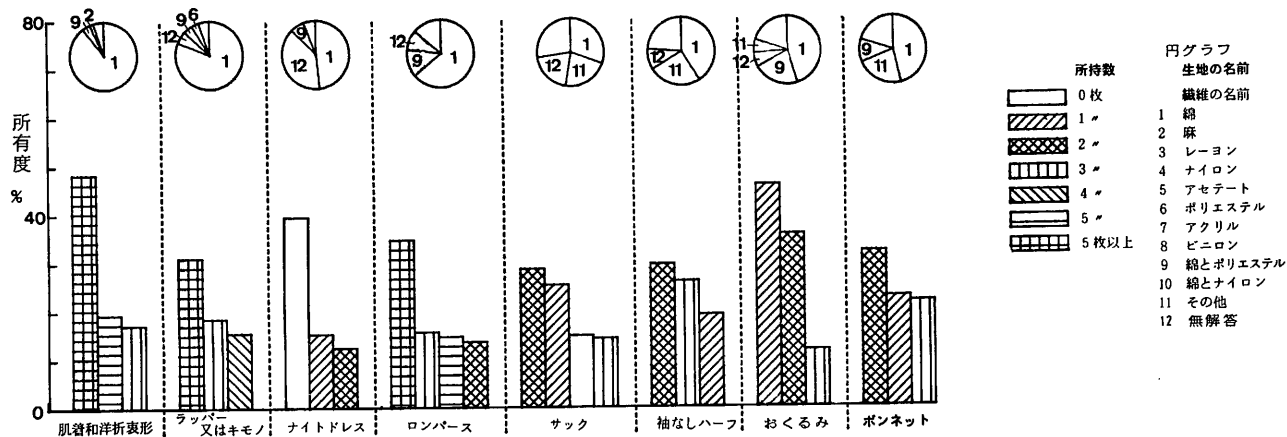


図3 最多所有数と生地名

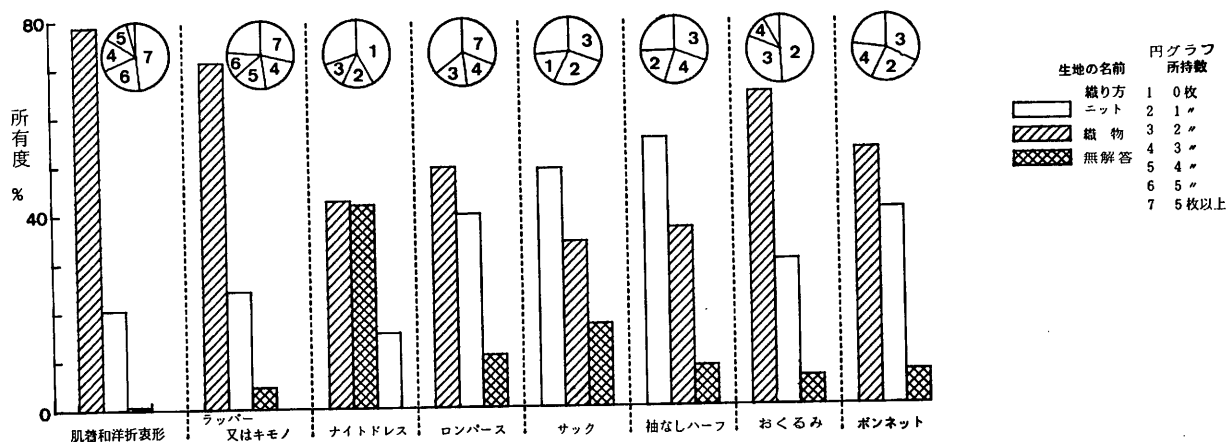


図4 最多織り方と所有数

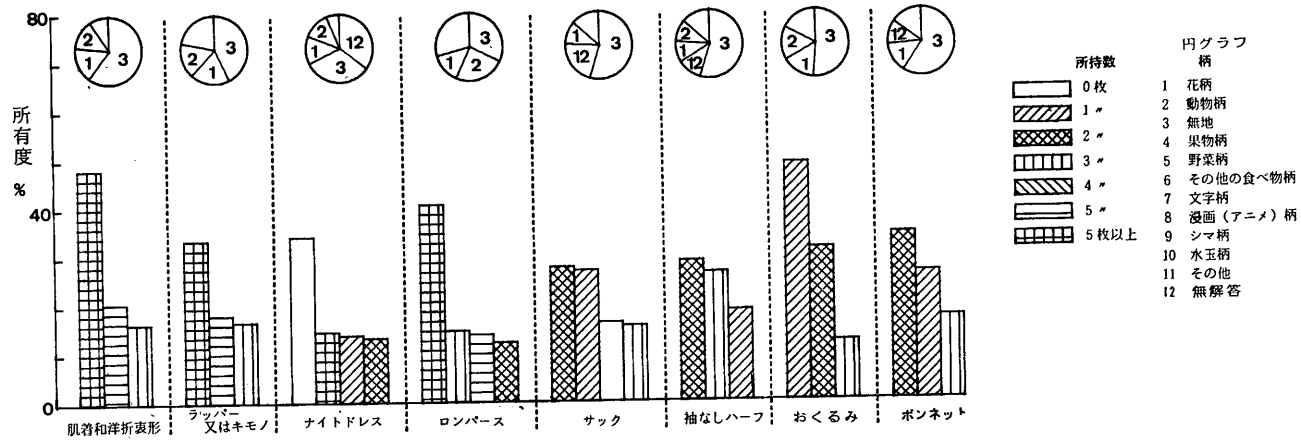


図5 最多所有数と柄

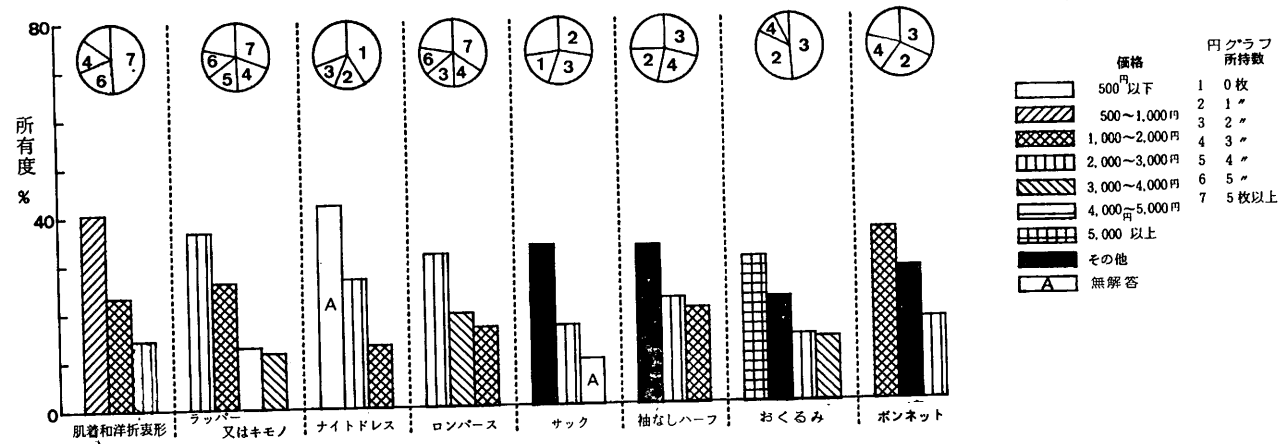


図6 種類別最多所持数と価格

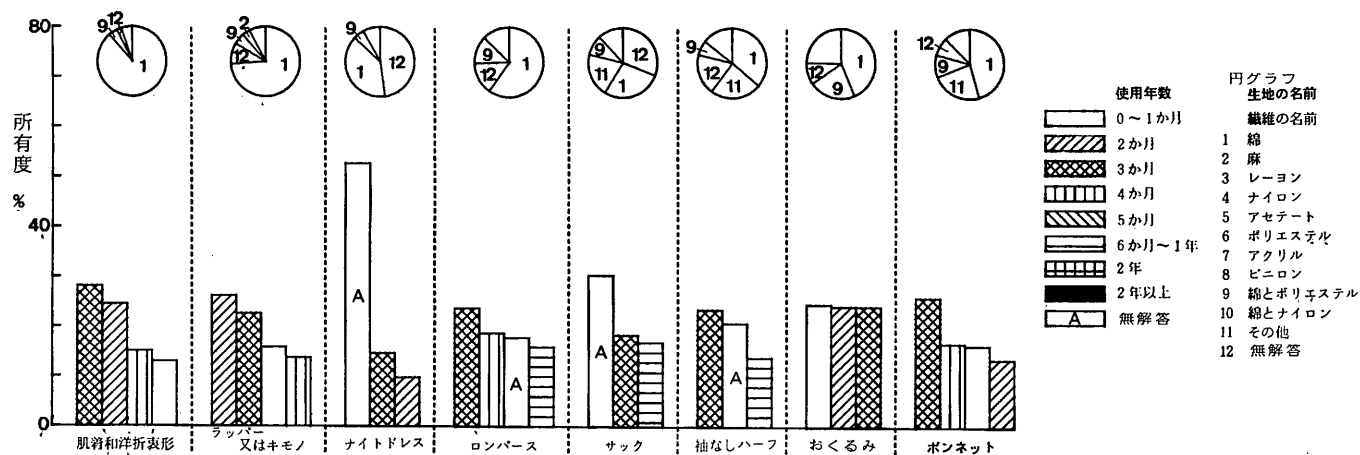


図7 最多使用生地と使用年数

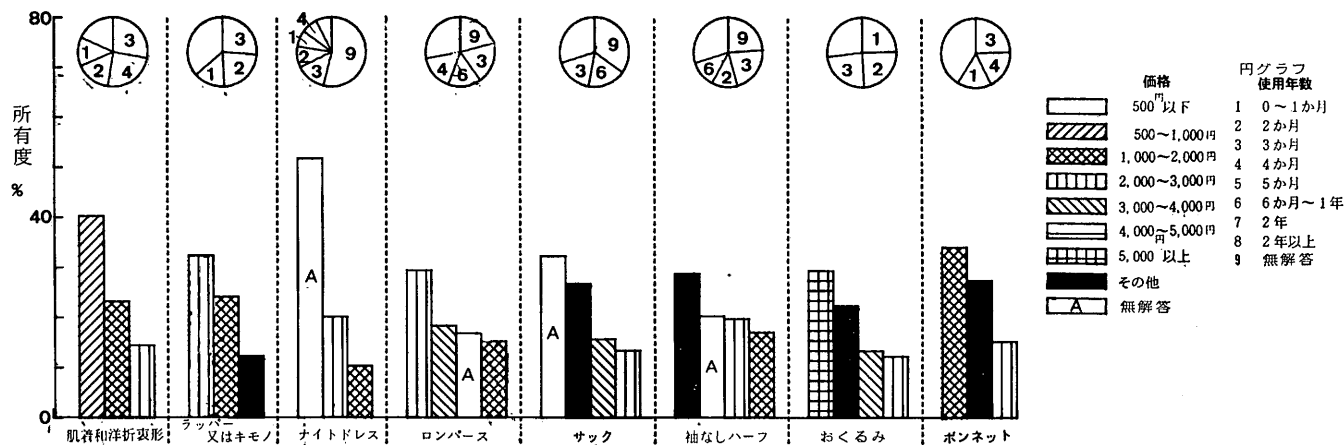


図8 最多入手価格と使用年数

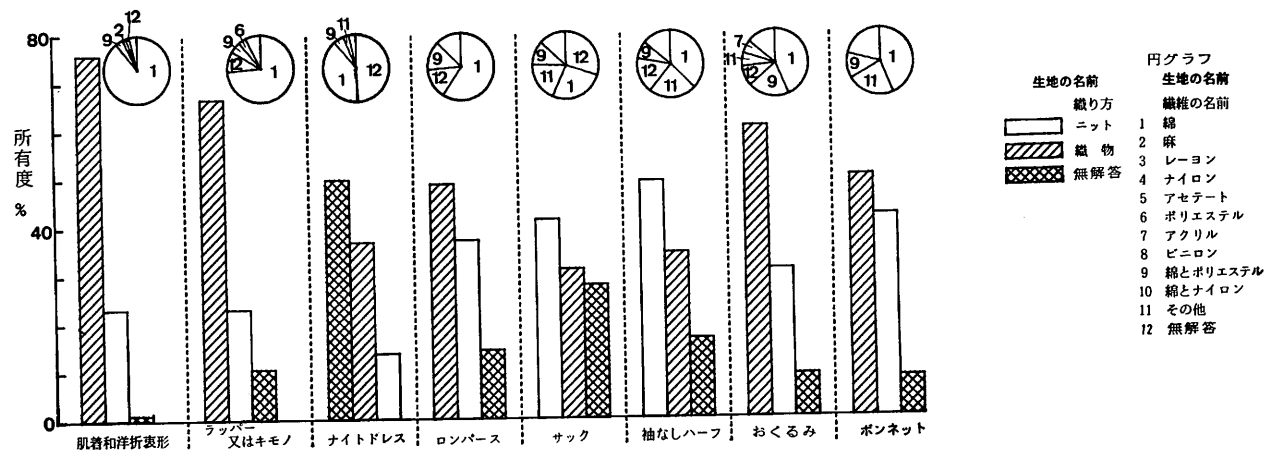


図9 最多生地と織り方

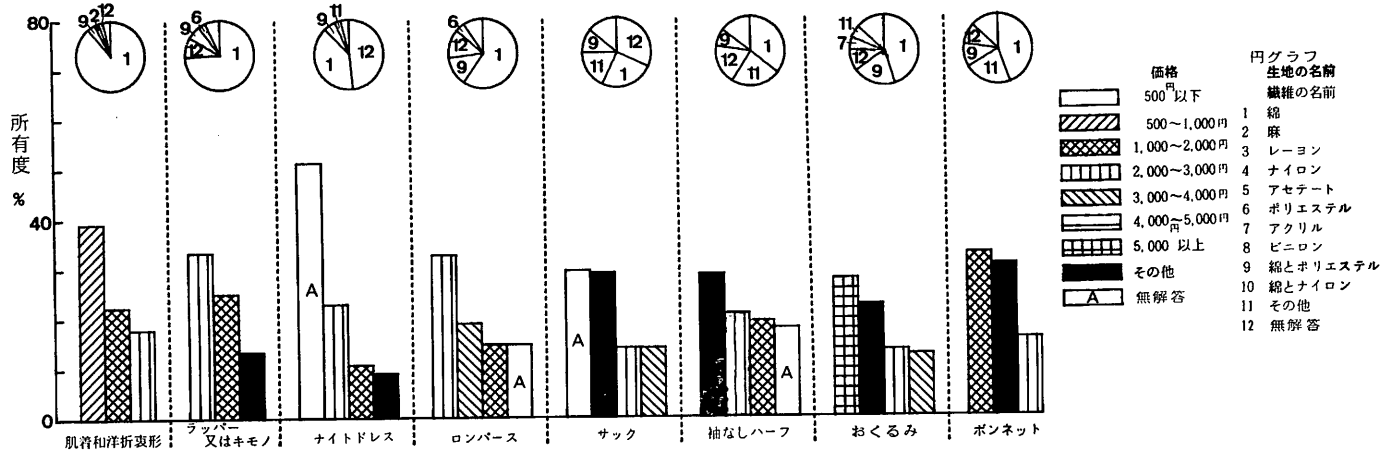


図10 最多使用生地と価格

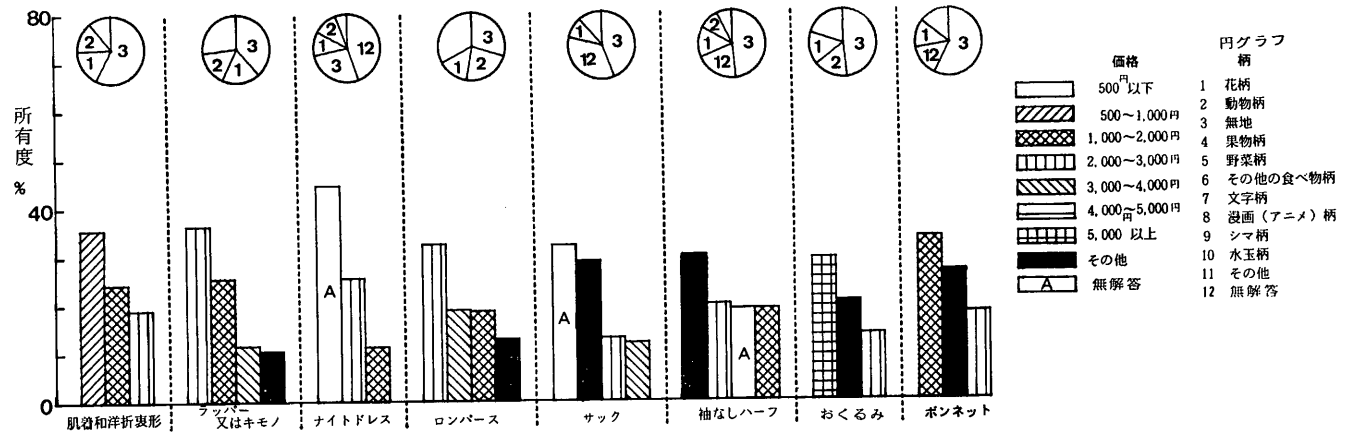


図11 最多柄と価格

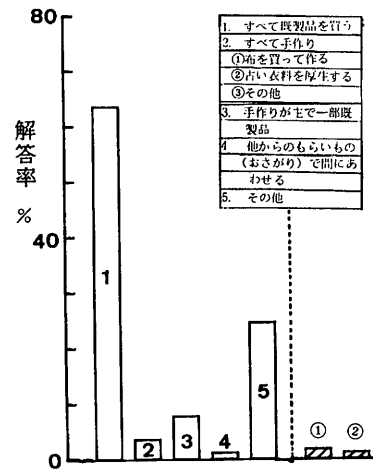


図12 衣料を新調する際の入手方法

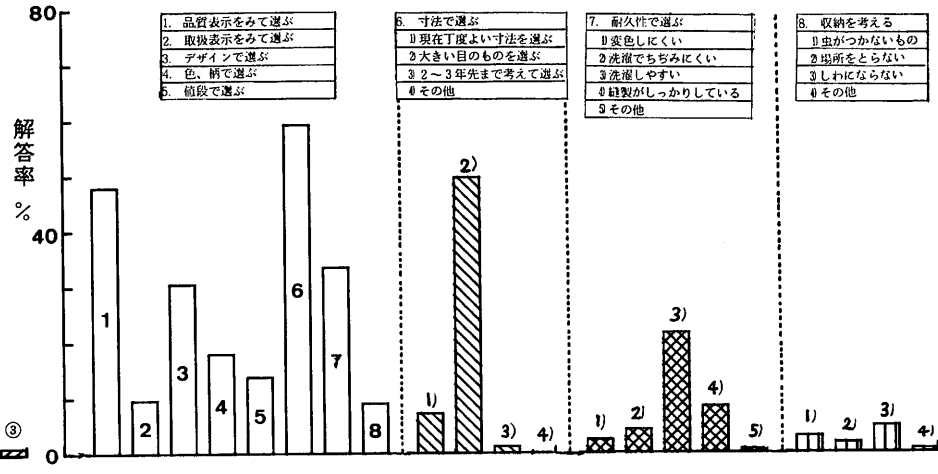


図13 買うときは何を優先して買うか

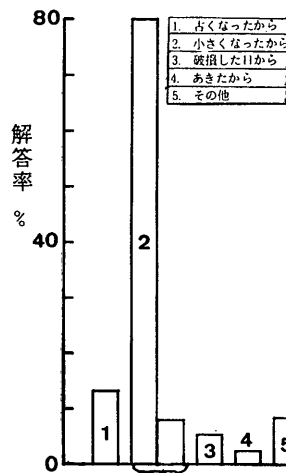


図14 新調する動機

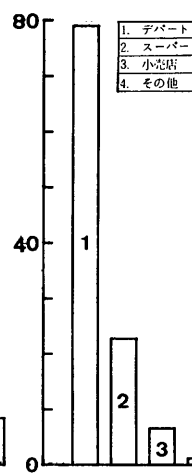


図15主に購入する場所

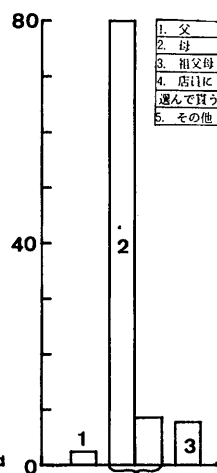


図16主に購入選択する人

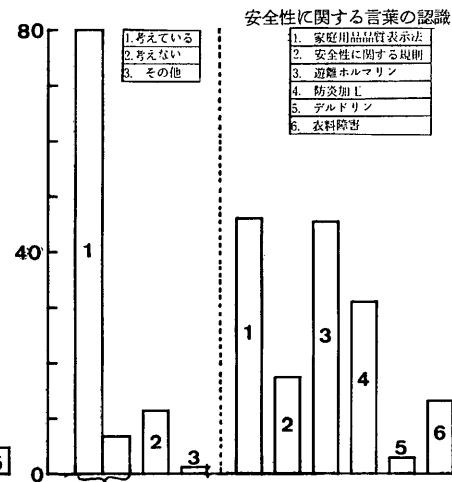


図17 衣料品の安全について考えるか

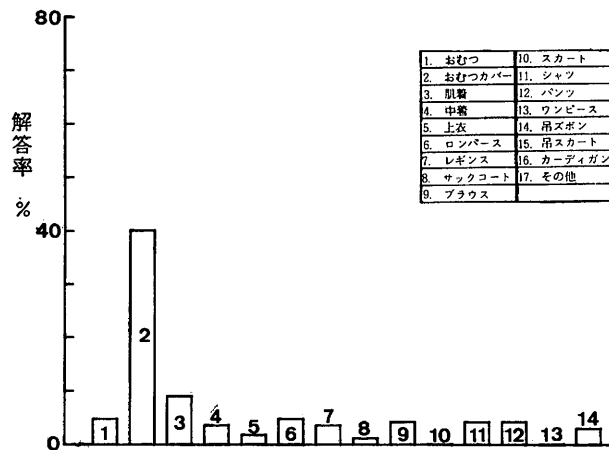


図18 苦情があった衣類の種類

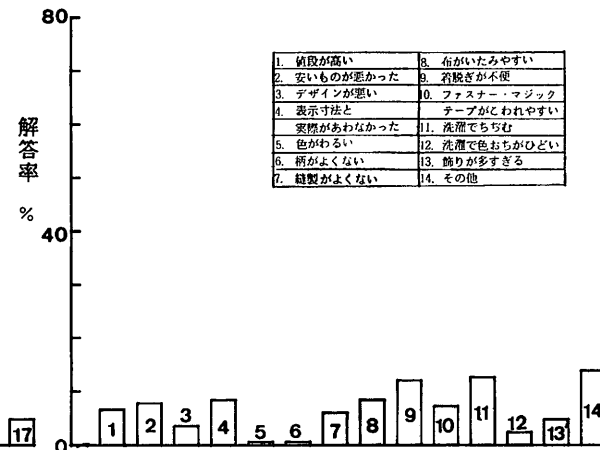


図19 苦情の種類

アクリル混紡が多かった。これらは「その他」の項目に解答されていた。なお無解答がもっとも多かったものはナイトドレス、所持数が少なく、無解答が目立ったものはサック、ハーフでありこれらは男児の場合と思われた。

(11) 図12～19は衣類の選択、使用などに関する設問の結果であるが、まとめると次のようである。

① 衣類を入手する方法(図12)は、すべて既製品を買うというのが75%であったが、既製品が主で一部手作り、既製品と手作りが半々、貰い物が多く、少し買い足すという解答などが多少見られた。(全解答数中15件程度)

② 購入時の優先事項では寸法で選ぶのが最も多く(約60%)、また50%のものは品質表示を見て選び、デザイン、耐久性を考えて選ぶものは30%前後見られた。さらに寸法は大きい目の物を買ひ、耐久性は洗濯しやすいもの、収納はしわにならない物を選ぶ解答が多かった。

③ 購入場所はデパートが最も多く(80%)、購入の動機は小さくなったから(約90%)、購入時選択する人は母親が90%で、「その他」の項目に購入場所が問屋が1件、購入動機は可愛いから、不足だからが2件ずつ、行事がある時というのが1件見られた。

④ 衣料品の安全性については90%近くのものと考え、家庭用品品質表示法、遊離ホルマリン、防炎加工などの言葉の認識は30～40%あることが判った。

⑤ 苦情のあった衣類は、おむつカバーが多く40%で、「その他」の項目に毛のベスト、肌を拭くオイルナップ、パジャマ、くつ下などの名が1件ずつ見られた。苦情の種類は多く、洗たくでちぢむ、着脱が不便、布がいたみやすい、表示寸法と実際が合わない、安物が不良品、値段が高いなどがあげられ、「その他」の項目には新生児のカーディガンのようなものが少ない(外出着)、ボタンがとれ易い、縫目がほつれやすい、おむつカバーのむれ、おむつカバーの材質不良、毛玉がよくできる、縫目が肌にあた

って痛そうである、などが見られた。

3-2 幼児の場合

(1) 図20, 21, 22, 23は最多所有数と生地、織り方、柄、価格を比較したものである。肌着類は6枚以上の所有者が70～90%を示し、とくにパンティは多い。またTシャツ、ブラウス、セーター、ワンピース、カーディガン、ベスト、長ズボン、半ズボン、スカートなども5～6枚以上の所有者が50～60%である。所有生地は綿が多いが、「その他」の項目に記入されたものとして毛が多く、ズボン類、セーター、カーディガン、ベストなどで所有者は30～45%であった。毛に次いで毛・アクリル混、ポリエステルが主流で、これらの混紡が多かった。

織り方はニットが多く、肌着も乳児と異なりニットに変っている。ズボン類、ブラウス、ワンピースは織物がニットより多く、スリッパ、ワンピース、スモック、スカートの無解答は男児の場合と考えられた。

柄は肌着の場合は無地が多く、花柄も見られ、上着類はTシャツの動物、漫画が目立ち、他は縞柄も多い。

価格は肌着は1,000円以内であるが、Tシャツ、ブラウス、半ズボン、長ズボン、ベストなどは1,000～2,000円の物を持っている度合が多く、セーター、カーディガン、ズボンなどは2,000～3,000円であった。

(2) 図24は最多生地名と使用年数および価格を比較したもので、所有生地は前記に準ずるが、肌着類の使用年数は5か月が多く、上衣類、ズボン類、スカートなどは6か月～2年が多く、中には2年以上使用している解答もあった。

価格は図25に示したが前記に準じて、すべて4,000円以内であった。

(3) 図26, 27は使用生地と織り方、価格を比較したものであるが、肌着は綿ニット、価格は1,000円以下、上衣はセーター、カーディガン、ベストなどはニットで、価格は500～2,000円(ベスト500円以下)、ズボン類は織り物が多く、価格は1,000～4,000円が多い。スリッパ、

東京家政大学生生活科学研究所研究報告第7集

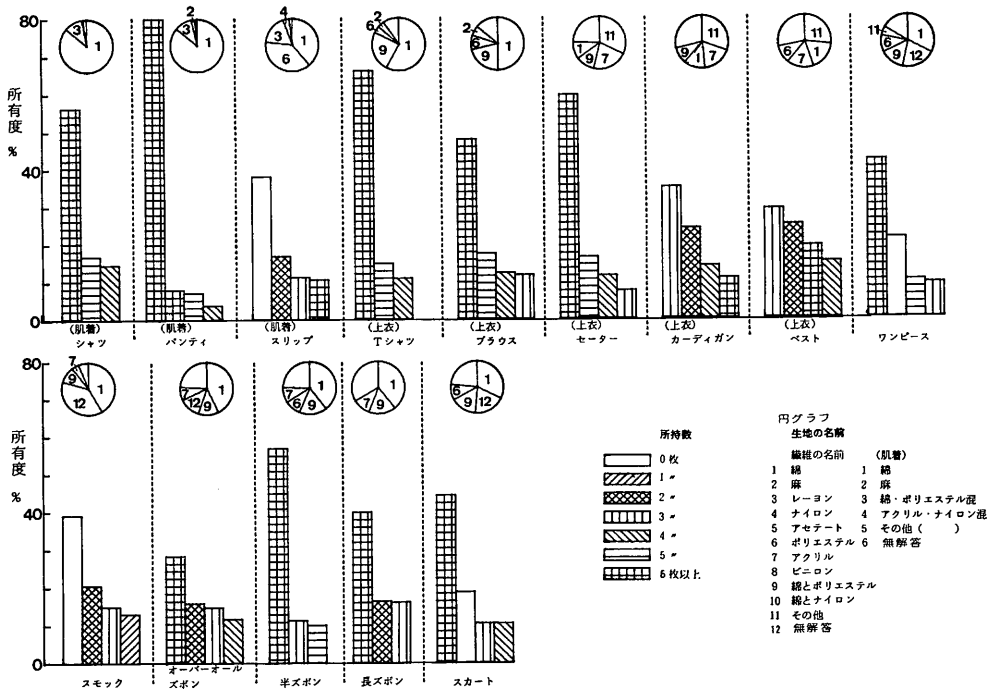


図20 最多所有数と生地名

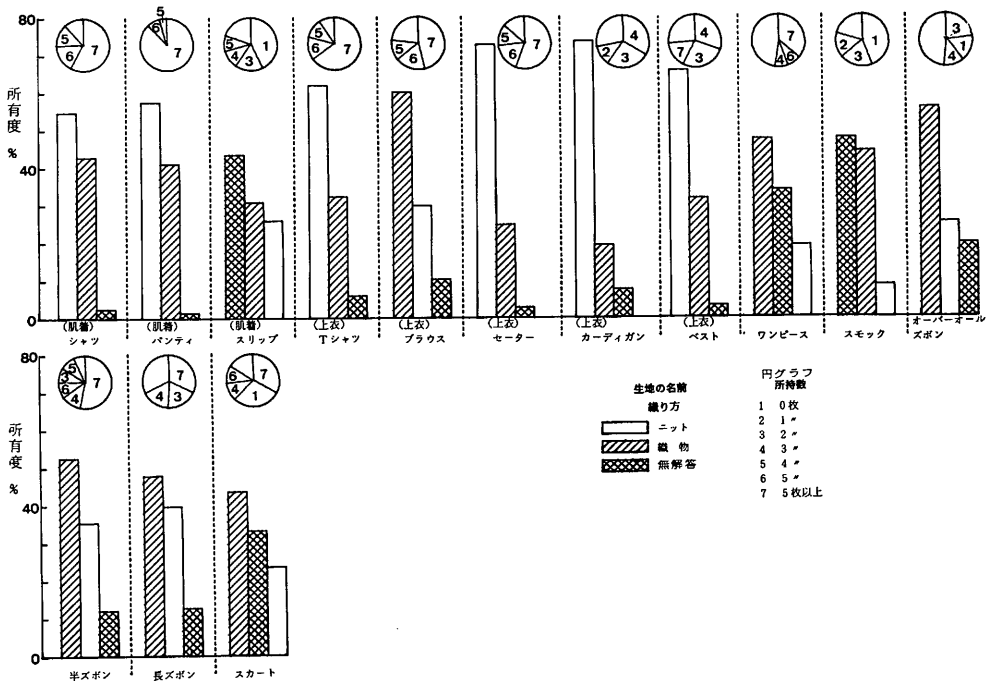


図21 最多織り方と所有数

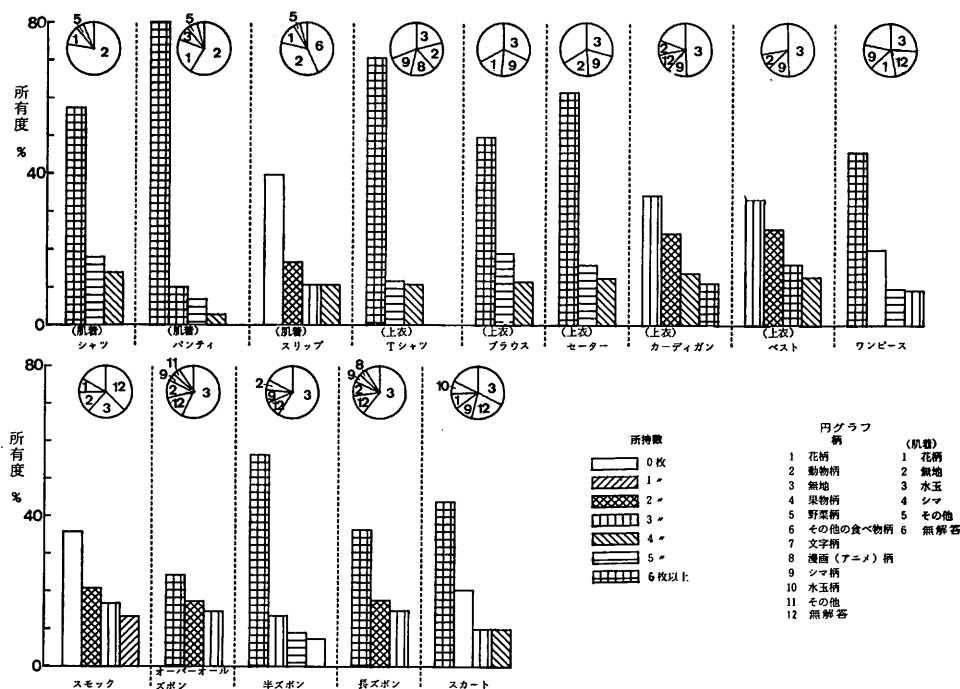


図22 最多所有数と柄

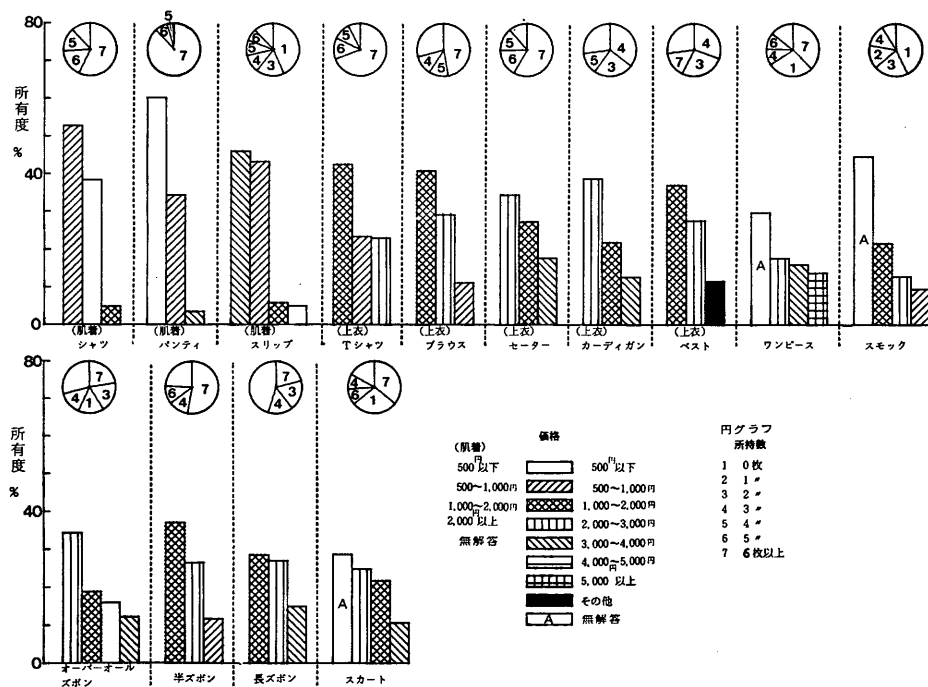
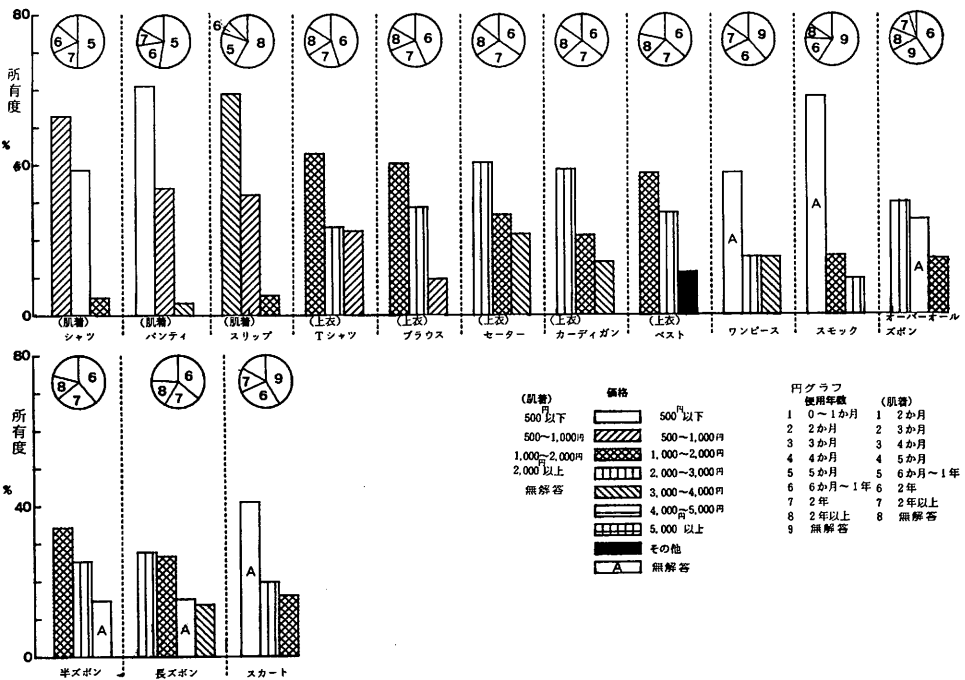
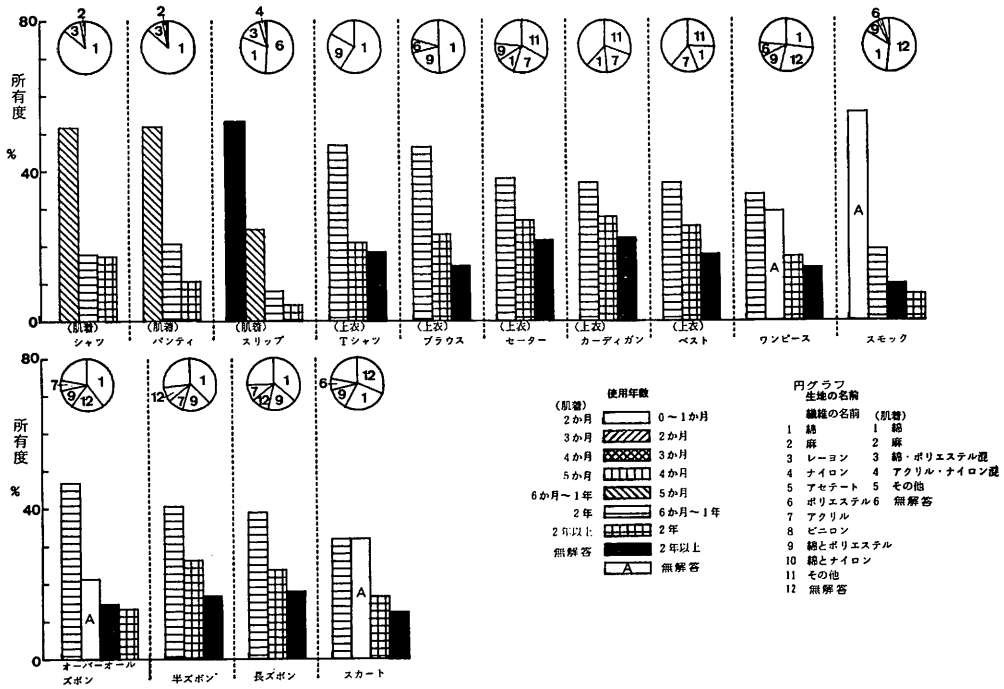
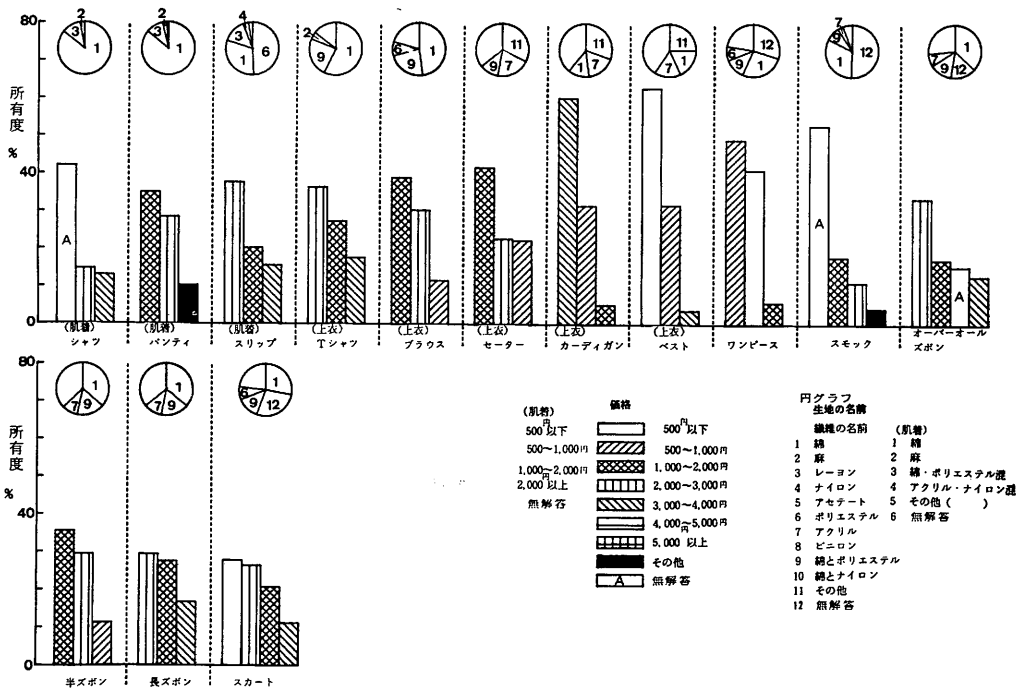
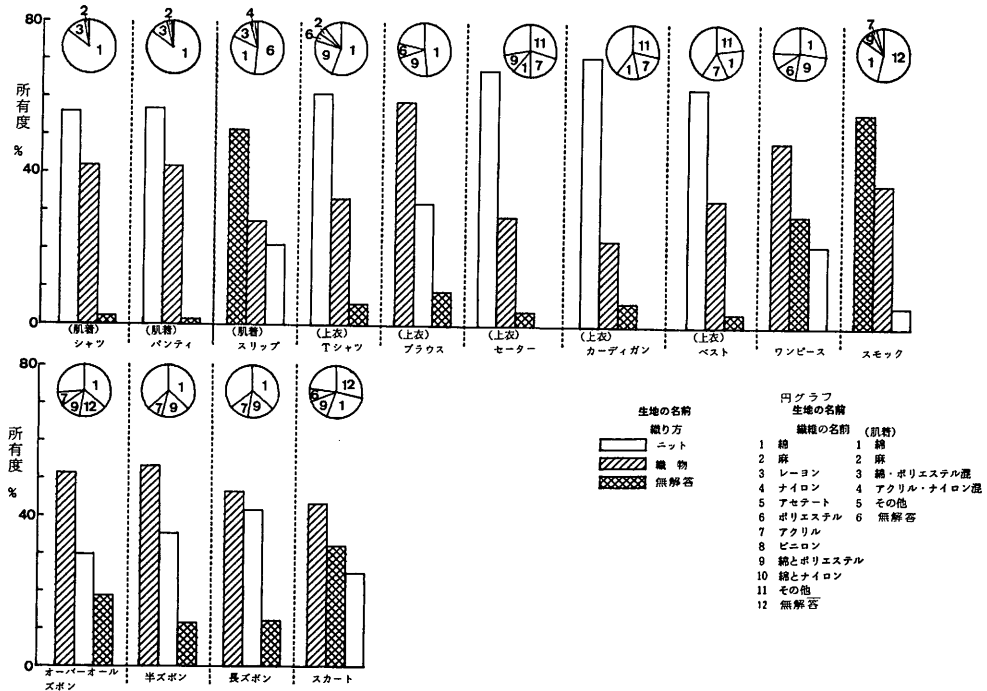


図23 種類別最多所持数と価格





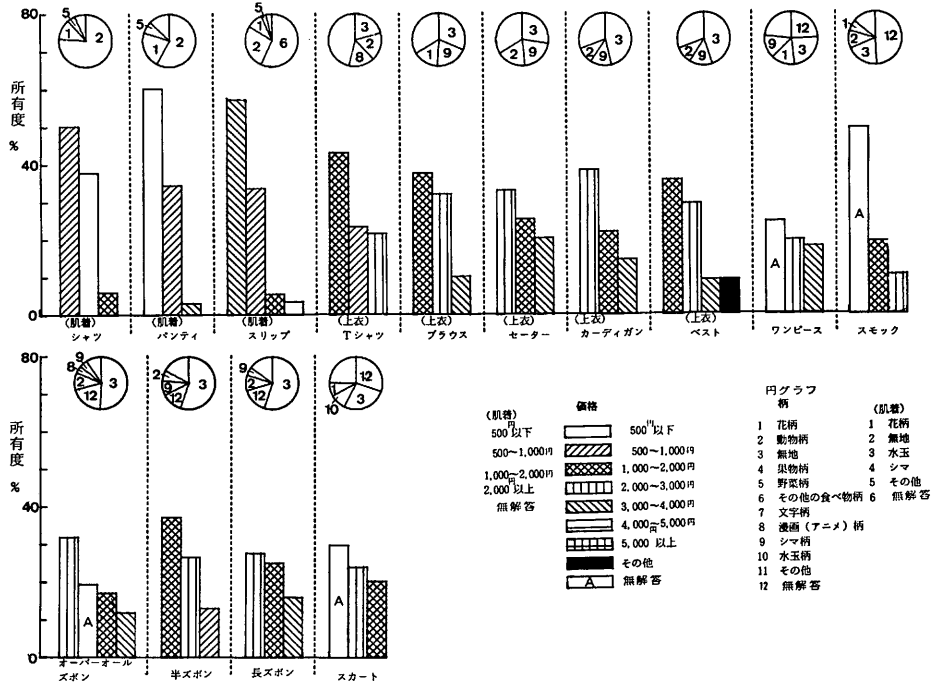


図28 最多柄と価格

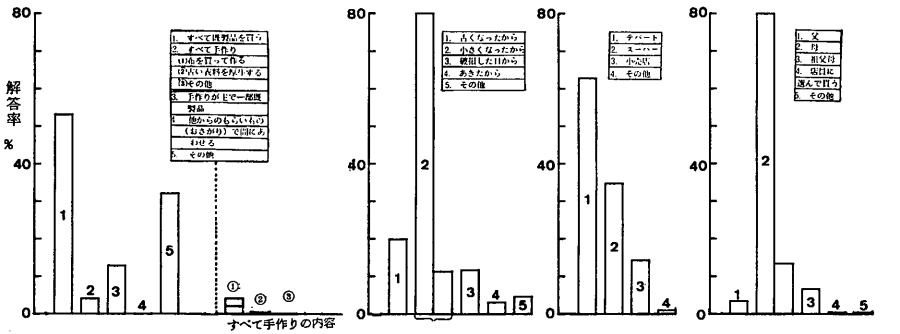


図29 衣料を新調する際の入手方法

図30 新調する動機

図31 主に購入する場所

図32 主に購入選択する人

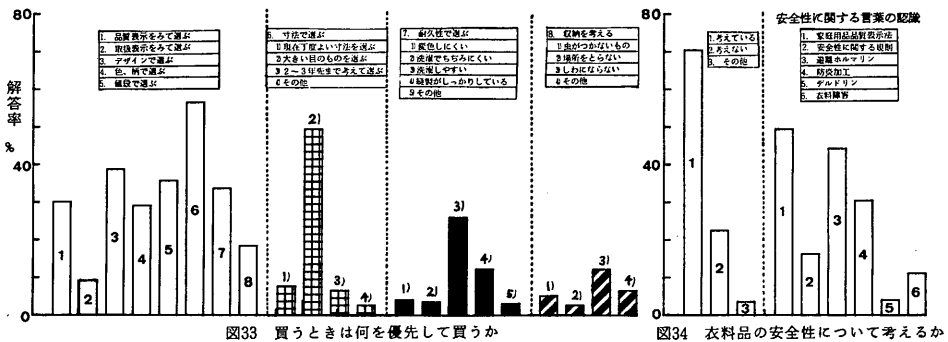


図33 買うときは何を優先して買うか

図34 衣料品の安全性について考えるか

Tシャツ、ブラウスは綿とポリエステル混紡が多く、ブラウスにはその他で綿・ポリエステル混紡、レーヨンも見られた。セーター、カーディガン、ベストは毛または毛・アクリル混紡で、ベルベットなども「その他」の解答中に見られた。

(4) 図28は最多柄と価格を比較したもので、価格は前記に準ずるが、柄では「その他」の項目に刺繍、チェック、ダイヤ柄、乗り物、ワンポイント、鉛筆、自動車、幾何学模様、アップリケ、人形柄、格子柄、カザリ釦などの解答が見られた。

また価格の「その他」としてセーター、カーディガン、ベストなどは手作りが45件、お下り、プレゼントなどが21件見られた。

(5) 以上のような幼児の衣類の実態に対し、2, 3追加すると次のようである。設問に対し無解答がもっとも多かったものはスリッパ、ワンピース、スカート、スモックで、これらは男児の場合と考えられ、スリッパ、スモックは所

有しない場合が多いものと考えられた。また所有数に差があり、無解答が目立ったものはオーバーオールであった。

(6) 図29～36は衣類の選択、使用などに関する設問の結果であるが、まとめると次のようである。

図29の衣料入手方法はすべて既製品を買うのが53%で、「その他」として既製品が主で一部手作りが28件、ほかに既製品を買い手直しする、セーター、ベスト、ズボンのみ手作り、外出用が必要で買う、半分貰い物、半分既製品などの解答が少数見られた。

図30は新調の動機であるが、小さくなったからが90%、「その他」として良い物があつたから、外出用、季節の変わり目などが少数見られた。

図31は購入場所で、デパートが多く、「その他」としてバーゲンなどの解答が少数見られた。

図32は購入する人であるが、母親が多い。

図33は買うときの優先順位で、寸法を第1に

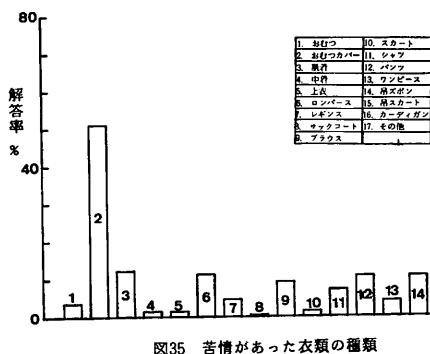


図35 苦情があった衣類の種類

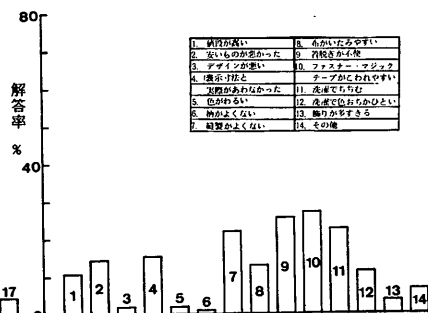


図36 苦情の種類

表1 設問項目中の最高解答の内容(乳児の場合)

項 目 スタイル	最 高 順 位	所 持 数	使用年数	織り方	繊維の名前	色の濃さ	色の名前	柄	価 格
肌着和洋折衷形	1	6枚以上	3ヶ月	織物	綿	淡	白	無地	500円～1,000円
	2	5枚	2ヶ月	ニット		中	黄	花	1,000円～2,000円
ラッパ 又は キモノ	1	6枚以上	2、3ヶ月	織物	綿	淡	白	無地	2,000円～3,000円
	2	3枚		ニット	無解答	中	黄	花	1,000円～2,000円
ナイトドレス	1	1枚	3ヶ月	織物	綿	淡	白	無地	2,000円～3,000円
	2	2枚	2ヶ月	ニット		中	黄	花	1,000円～2,000円
ロンパース	1	6枚以上	3ヶ月	織物	綿	淡	ピンク	無地	2,000円～3,000円
	2	3枚	4ヶ月	ニット	綿とポリエステル	中	白	動物	3,000円～4,000円
サック	1	1枚	3ヶ月	ニット	綿	淡	白	無地	その他
	2	2枚	6ヶ月～1年	織物	その他	中	黄	花	2,000円～3,000円
袖なしハーフ	1	2枚	3ヶ月	ニット	綿	淡	白	無地	その他
	2	3枚	6ヶ月～1年	織物	その他		ピンク	花	2,000円～3,000円
おくるみ	1	1枚	3ヶ月	織物	綿	淡	白	無地	5,000円以上
	2	2枚	2ヶ月	ニット	綿とポリエステル	中	黄	花、動物	その他
ボンネット	1	2枚	3ヶ月	織物	綿	淡	白	無地	1,000円～2,000円
	2	1枚	2ヶ月	ニット	その他	中	ピンク	花	その他

表2 設問項目中の最高解答の内容(幼児の場合)

項目 スタイル	最高解答順位	所持数	使用年数	織り方	繊維の名前	色の濃さ	色の名前	柄	価 格
シ ャ ツ	1	6枚以上	6ヶ月～1	ニット	綿	淡	白	無地	500円～1,000円
	2	5枚	2年	織物	綿とポリエステル		水色	花	500円以下
パ ン テ イ	1	6枚以上	6ヶ月～1	ニット	綿	淡	白	無地	500円以下
	2	5枚	2年	織物	綿とポリエステル	中	ピンク	花	500円～1,000円
ス リ ッ プ	1	2枚	6ヶ月～1	織物	綿	淡	白	無地	500円～1,000円
	2	3枚			綿とポリエステル				
T シ ャ ツ	1	6枚以上	6ヶ月～1	ニット	綿	淡	白	無地	1,000円～2,000円
	2	5枚	2年	織物	綿とポリエステル	中	黄	動物	500円～1,000円
ブ ラ ウ ス	1	6枚以上	6ヶ月～1	織物	綿	淡	白	無地	1,000円～2,000円
	2	5枚	2年	ニット	綿とポリエステル	中	ピンク	シマ	2,000円～3,000円
セ ー タ ー	1	6枚以上	6ヶ月～1	ニット	その他	濃	白	無地	2,000円～3,000円
	2	5枚	2年	織物	アクリル	中	青	シマ	1,000円～2,000円
カーディガン	1	3枚	6ヶ月～1	ニット	その他	淡	白	無地	2,000円～3,000円
	2		2年		アクリル	中	青	シマ	1,000円～2,000円
ベ ス ト	1	3枚	6ヶ月～1	ニット	その他	中	青	無地	1,000円～2,000円
	2	2枚	2年	織物	綿	濃	白	シマ	2,000円～3,000円
ワ ン ピ ース	1	6枚以上	6ヶ月～1	織物	綿	淡	ピンク	無地	2,000円～3,000円
	2	3～5枚	2年		綿とポリエステル	中	黄	花	3,000円～4,000円
ス モ ッ ク	1	1枚	6ヶ月～1	織物	綿	淡	ピンク	無地	1,000円～2,000円
	2	2枚	2年		綿とポリエステル	中	水色	動物	2,000円～3,000円
オーバーオール ズ ボ ン	1	2枚	6ヶ月～1	織物	綿	濃	青	無地	2,000円～3,000円
	2	6枚以上	2年	ニット	綿とポリエステル	中	赤	動物	1,000円～2,000円
半 ズ ボ ン	1タスキなし	6枚以上	6ヶ月～1	織物	綿	中	青	無地	1,000円～2,000円
	2タスキあり	3枚	2年	ニット	綿とポリエステル	濃	赤	シマ	2,000円～3,000円
長 ズ ボ ン	1ゴム入り	6枚以上	6ヶ月～1	織物	綿	濃	青	無地	2,000円～3,000円
	2タスキなし	2枚	2年	ニット	綿とポリエステル	中	赤	動物	1,000円～2,000円
ス カ ー ト	1タスキあり	6枚以上	6ヶ月～1	織物	綿	中	ピンク	無地	2,000円～3,000円
	2ゴム入り	3枚	2年		綿とポリエステル	濃	赤	シマ	1,000円～2,000円

ト部・宇留野・清水・仲・片山・木曾山・宮崎・山本：乳幼児被服の適正条件に関する総合的研究

考え、大きい目のものを選び、デザイン、耐久性、価格も考える場合が30～40％見られた。さらに洗濯しやすい解答、収納ではしわにならないものを考える解答が多かった。また「その他」として考えないという解答もあった。

図34は衣料品の安全性の認識であるが、それについて考えている人は70％であり「その他」として物により考える、2歳頃までは考えた、通気性の良いものを考えるが1件ずつあった。

図35は苦情衣類についてであるが、もっとも多かったのはおむつかバーで、肌着、ロンパース、ブラウス、パンツ、吊ズボンなども見られたが、「その他」としてトレーナー、Tシャツが1件ずつ見られた。

図36の苦情の種類はファスナー、マジックテープがこわれやすい、縫製不良、洗濯のちぢみなどが多いが、「その他」静電気が起きやすい、おむつかバーがしみ出す、肌あれが起きた、洗濯で首手首のまわりが伸びた、肌に当り痛い、首のところの釦がきつい、首が通りにくい、シャツの裾がのび丈がつまるなどの解答が少数見られた。

3. ま と め

乳幼児の被服の実態をアンケートによって調査し、その結果をまとめ、設問項目中の最高解答の内容を表1、2に示した。この表では解答数上位2位までをとったが、この順位は調査人員数に対する解答件数の割合である。そのため図3～36の結果とは多少異なる結果もある。また調査項目中の色に関する部分は紙面の都合上次報に報告する。

第2報 幼児の衣服内気候に関する研究

分担研究者 宇留野勝正

1. 緒 言

成人の衣服内気候については、温度 $32\pm1^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $50\pm10\%$ が適当とされている。しかし乳幼児についての研究は非常に少ない。そこで著者は乳幼児被服の適正条件に関する総合的研究の一環として、パジャマ着用中の衣服内気候の測定をしたので報告したい。

2. 研究方法

東京家政大学附属ナースリーの2～3歳児の午睡時（午後1時半～3時）に、胸骨下端部の皮膚と衣服（パジャマ）との間の温度、湿度および皮膚温を測定した。測定は受感器挿入後10分値をとり、昭和57年5月14日、17日、58年3月18日、8月8日の4日間に行った。

測定器は温度および湿度はAKL型エース鋭感湿度計、皮膚温はテルモファイナーTFPN型電子体温計を用いた。

3. 測定成績と考察

測定幼児がパジャマ着用して午睡中の衣服内気候は表のようである。この成績からパジャマ内気候は病的状態にあるとは考えられない。

パジャマ着用児の衣服内気候（各平均値）

測定月日	人数	室 内		衣 服 内		
		気温 $^{\circ}\text{C}$	湿度 $\%$	温度 $^{\circ}\text{C}$	湿度 $\%$	皮膚温 $^{\circ}\text{C}$
3.18	5	19	30	33.1	35.4	35.0
5.14	3	15	30	31.8	28.7	34.5
17	3	19	54	34.7	34.3	35.8
8.8	3	32.5	62	35.2	65.7	36.1